



キーワード 地方創生／官民連携／水辺の保全／観光

フィールド 北海道 ・ **川**

実施体制 認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト
／浜中町



アクションの目的

霧多布湿原におけるエコツアーを通じたファンづくり、自然生態系の保全

アクションの背景

霧多布湿原は浜中町の重要な観光資源であるが、総面積の1/3を私有地が占め、将来的に開発されてしまう懸念があった。1986年、地元の青年が集まり、「霧多布湿原ファンクラブ」を発足させ、土地の借り上げによる湿原の保全活動が始まった。2000年、霧多布湿原ナショナルトラストを法人化し、恒久的な保全に向けて土地の買い取りを始めた。

アクションの内容

【霧多布湿原におけるエコツアー】
ナショナルトラストによる土地の買い取りにより、湿原を開発から守っている。町との景観協定保全地を含め、今日、湿原内の私有地の7割以上に当たる880haを保全している。
霧多布湿原に親しむための木道づくりやエコツアーの実施などを通じて、霧多布湿原のファンづくりにつなげている。2007年、第3回エコツーリズム大賞(環境省・NPO法人日本ツーリズム協会主催)で大賞を受賞した。

アクションのポイント

- ◎おもてなしの心を前面に出し、また一次産業の生産者と連携した観光プログラムの提供などを通じて、町民の意識改革を、町のリズムに合わせて行っている。
- ◎ナショナルトラスト活動を「長年」続けてきたことが認められ、保全のための土地の買い取りに当初応じてもらえなかった地主の人からも協力が得られるようになってきている。

アクションの効果

- 木道の維持管理作業には、地元の霧多布高校の生徒がボランティアで参加し、郷土愛をはぐくんでいる。
- 2006年から小学生を対象に毎年募集している「きりたっぷ子ども自然クラブ」では、霧多布湿原センター周辺の自然や霧多布湿原を主なフィールドに、月1～2回の自然体験プログラムを提供している。参加した子どもたちがプログラム後、ボランティア等の形で活動に関わっている。